


分野：②

## 「上谷沼たんけん」

環境アドバイザー

貴家 章子

対象 川口市立芝西小学校 3年  
(107名のうち71人)

所要時間  8:45～12:00 (移動含む)  
各クラス 70分×2回授業

場所 上谷沼調節池

実施時期 令和2年10月12日

## 概要

上谷沼ビンゴで自然の中での生き物の見つけ方を知り、草原でバッタを中心に捕まえて、生き物に触れるとともに、バッタの役割の説明を聞いて上谷沼の自然の理解への一歩とする。

プログラムの  
ねらい

上谷沼に生息するバッタを追いかけて捕まえ、生き物にふれ、食物連鎖と生命の大切さに気付かせる。

## プログラムの内容

## 1 上谷沼ビンゴ (20分)

ビンゴの課題を草原を観察しながら解いていかせた。

## 2 虫探し (40分)

虫の扱い方、虫かごへの入れ方をレクチャーし、虫探しを開始した。アドバイザーとスタッフは児童の行動を見守り、安全を確認したり、虫の名まえを教えた。

休憩して集合したあと、まとめを行った。

バッタの役割を考えさせ、草原での生物の食べる食べられるのつながりを説明し、また、命の大切さをレクチャーした。

## 3 ドングリ拾い (10分)

調節池入り口の林に、豊富にできたドングリを拾った。

## 受講者の反応

ほとんどの児童が積極的に虫を追いかけて、虫に触れ、上谷沼の自然に興味関心をもつことができた。また、バッタの命についても感じる児童が多く、レクチャーのあとで、「すぐにかがしていいですか。」という声が何人も聞こえた。

## 環境学習の様子（写真） ※表面に写真を掲載している場合は不要



これから授業を始めます。



何がとれたかな。